

なないろ

虹色全開
20学年

～自分で責任を持って行動する気が利く。
あったかい学年～

川口市立戸塚中学校

46期2学年通信 No.17

令和6年7月15日(月)

キャー ワアー うっひょー の大切さ

友人達とユニバーサルスタジオジャパンに遊びに出かけた時のことです。

最初は「楽しんでこよう」というくらいの気持ちで家をでて電車に乗り込んだのですが、ユニバーサルスタジオに近づくにつれて、せっかくだからハメをはずすくらいの気持ちで遊ぼうかなという気持ちが芽生え始めてきました。

そしてユニバーサルスタジオの入り口までくると、すっかりハメをはずしていました。ハメをはずすといってもたいした物ではありません(笑)今回のハメのはずすという感じはですね、よくテレビで本場アメリカのユニバーサルスタジオやディズニーランドはこんなところだというのを放送していますよね。その放送にでてくる外国の人達が「ワアー」とか「キャー」とか驚きや感動を口にだして、おもいっきり楽しんでいるシーンがありますよね。

この「ワアー」とか「キャー」とか「うっひょー」とか驚きや感動を口にだしておもいっきり楽しもうというのが僕のハメをはずすというものでした。友人達7人と合わせて8人で遊びに行ったのですが、皆さん僕以上に「ワアー」とか「キャー」と騒いでいました。

そんな8人の集団で、『ジョーズ』というアトラクションに行きました。

『ジョーズ』というアトラクションはユニバーサルスタジオのスタッフがボートの船頭役となってクルージングしている内に映画『ジョーズ』のように鮫がボートを襲ってくるという設定のアトラクションです。

8人の集団はボートに乗り込み、ユニバーサルスタジオのスタッフ〇〇さん(わかりやすいように今回は藤田先生ということにしましょうか。)の案内によりクルージングを楽しんでいました。そして予定どおり、ジョーズがボートを襲ってきました。

「皆さんジョーズが襲ってきました。」という藤田さんの声に8人は「ワアー」とか「キャー」とか驚きや感動の声を・・・それ以外にユニバーサルスタジオのスタッフ藤田さんに向かって「キャア～藤田さん助けて」「藤田さん、鮫が、鮫が襲ってきたー」という呼びかけをしていました。

するとユニバーサルスタジオのスタッフ藤田さんは、「大丈夫です、退治します。」と反応してくれます。

この反応してくれたことは僕達にとってとても嬉しいことでした。そしてますますアトラクションが盛り上がりました。僕達は続けて「藤田さん、がんばってー」等、ユニバーサルスタジオのスタッフ藤田さんに応援の呼びかけをすると、「後ろに座っているテンションの高い8名様、ありがとう、がんばります」という声が返ってきました。

この声で更に8名は大盛り上がりになりました。そしてアトラクションが終わり、ボートを降りるときに、ユニバーサルスタジオのスタッフ藤田さんは「8名の皆さん終わりまでこのテンションで楽しんでくださ～い」とボートに付いているマイクを使って声をかけてくれました。どうやら、藤田さんも自分が船頭役として「皆さんジョーズが襲ってきました。」という声に対して「キャア～藤田さん助けて」「藤田さん、鯨が、鯨が襲ってきたー」と反応した僕達は楽しいお客だったようです。

人は自分の話す言葉や、態度に対して反応してくれると嬉しくなります。逆に、反応がないとき寂しい気持ちになったりする時があります。

例えば「おはよう」という呼びかけにだして、なんにも反応が返ってこないことは、あまり良い気分じゃないですね。

逆に「おはよう」という呼びかけに対して「おはよう」という言葉が返ってくると良い気分になります。

反応することは対人関係においてすごく大事なポイントだと思います。

親子関係だったら、子供に反応してあげることがとても大事になってきますし、会社だと部下の言葉に注目したり、答えてあげるなど反応することがとても大事になってきます。

さて、授業でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

いよいよ授業が始まりました。2年生の授業スタートはどうでしたか？

新しい仲間と新しい授業、反応ある楽しい授業をみんなで目指していきたいと思いませんか???

職員自己紹介パート6

個人情報保護の観点から、HP上では氏名は伏せております。

ご了承ください。